

設置の趣旨等を記載した書類（資料目次）

【資料1】情報処理推進機構（IPA）「DX 動向 2024-深刻化する DX を推進する人材不足と課題」(抜粋) (2024 年 7 月)	2
【資料2】情報処理推進機構（IPA）「IT スキル標準はやわかり - 人材育成への活用 - 」(抜粋) (2012 年 7 月 2 日)	3
【資料3】一般社団法人日本経済団体連合会「次期教育振興基本計画策定に向けた提言 - 主体的な学びを通じ、未来を切り拓くことができる多様な人材の育成に無けて - 」(2022 年 10 月 11 日) (抜粋)	4
【資料4】文部科学省中央教育審議会「我が国の「知の総和」向上の未来像～高等教育システムの再構築～（答申）」(抜粋) (令和 7 年 2 月 21 日)	5
【資料5】未来探究科学部デジタル構想学科カリキュラム・マップ	6
【資料6】未来探究科学部デジタル構想学科履修モデル	10
【資料7】東北学院大学定年規程	11
【資料8】東北学院榴ヶ岡高等学校の基準面積について	12

【資料1】

1. 資料名

「DX 動向 2024-深刻化する DX を推進する人材不足と課題」(2024 年 7 月)(抜粋)

2. 出典

独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)

<https://www.ipa.go.jp/digital/chousa/discussion-paper/f55m8k00000039kf-att/dx-talent-shortage.pdf>

3. 引用範囲

「(2) DX の各取組における課題」(5 頁)

【資料2】

1. 資料名

「ITスキル標準はわかり - 人材育成への活用 - 」(2012年7月2日)(抜粋)

2. 出典

独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)

<https://www.ipa.go.jp/archive/jinzai/skill-standard/itss/qv6pgp000000buc8-att/000025745.pdf>

3. 引用範囲

- ・「レベルと評価の概念、各レベルの定義」(5頁)
- ・「3.2.4 達成度指標の概要」(6～7頁)

【資料3】

1. 資料名

「次期教育振興基本計画」策定に向けた提言 - 主体的な学びを通じ、未来を切り拓くことができる多様な人材の育成に向けて - (2022年10月11日)(抜粋)

2. 出典

一般社団法人日本経済団体連合会

https://www.keidanren.or.jp/policy/2022/088_honbun.pdf

3. 引用範囲

「2. デジタル人材の育成」(10～11頁)

【資料4】

1. 資料名

「我が国の「知の総和」向上の未来像～高等教育システムの再構築～（答申）（令和7年2月21日）（抜粋）

2. 出典

文部科学省中央教育審議会

https://www.mext.go.jp/content/20250221-mxt_koutou02-000040400_1.pdf

3. 引用範囲

「教育研究の観点」（8～10頁）

(1) デジタル構想学部デジタル構想学科 カリキュラムマップ（学位授与の方針との対応）

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる（現代をよく生きる）	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる（汎用的技能・能力）	課題を発見し、その解決のために学修成果を活用して取り組むことができる（課題発見・解決）	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる（多面的認識、思考）	専攻分野の学修成果を活用及び説明できる（専門分野の学修）
1R11	聖書を学ぶ	◎				
1R11	キリスト教の歴史と思想	◎				
3C21	キリスト教学A（キリスト教と倫理）	◎				
3C21	キリスト教学B（キリスト教と宗教）	◎				
3C21	キリスト教学C（キリスト教と文化）	◎				
3C21	キリスト教学D（キリスト教と現代社会）	◎				
2C11	共生社会と倫理	◎			○	
2C11	科学技術社会と倫理	◎			○	
1C11	よき社会生活のためにA（法律）	◎			○	
1C11	よき社会生活のためにB（福祉）	◎			○	
1C11	よき社会生活のためにC（健康）	◎			○	
1C12	リーディング&ライティング		◎			
1C12	クリティカル・シンキング		◎			
1R12	情報リテラシー		◎		○	
1C12	統計的思考の基礎		◎		○	
1C12	科学的思考の基礎		◎		○	
1C13	キャリア形成の探究	○		◎		
3C13	東北学院史の探究	○		◎		
2C23	データ活用による探究		○	◎		
1C13	地域ボランティア活動の探究	○		◎		
2C23	地域課題の探究		○	◎	○	
1C13	アントレプレナーシップの探究		○	◎	○	
1C23	課題探究演習		○	◎		
1C14	哲学				◎	
1C14	芸術論	○			◎	
1C14	文化の歴史				◎	
1C14	音楽	○			◎	
1C14	倫理学				◎	
1C14	文学				◎	
1C14	歴史学	○			◎	
1C14	文化人類学	○			◎	
1C14	言語論				◎	
1C14	心理学				◎	
1C14	社会学				◎	
1C14	経営学				◎	
1C14	経済学				◎	
1C14	法学				◎	
1C14	日本国憲法	○			◎	
1C14	現代の政治	○			◎	
1C14	地理学				◎	
1C14	社会福祉論				◎	
1C14	ジェンダー論				◎	
1C14	東北地域論				◎	
1R14	AI社会の基礎		○		◎	
1C14	数理の科学				◎	
1C14	記号論理学		○		◎	
1C14	生命の科学				◎	
1C14	環境の科学				◎	
1C14	自然の科学				◎	
1C14	先端科学と技術				◎	
2C23	AI・データサイエンス概論		○	◎	○	

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる（現代をよく生きる）	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる（汎用的技能・能力）	課題を発見し、その解決のために学修成果を活用して取り組むことができる（課題発見・解決）	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる（多面的認識、思考）	専攻分野の学修成果を活用及び説明できる（専門分野の学修）
1R12	英語ⅠA		◎		○	
1R12	英語ⅠB		◎		○	
2R22	英語ⅡA		◎		○	
2R22	英語ⅡB		◎		○	
1E12	ドイツ語ⅠA		◎		○	
1E12	フランス語ⅠA		◎		○	
1E12	中国語ⅠA		◎		○	
1E12	韓国・朝鮮語ⅠA		◎		○	
1E12	ドイツ語ⅠB		◎		○	
1E12	フランス語ⅠB		◎		○	
1E12	中国語ⅠB		◎		○	
1E12	韓国・朝鮮語ⅠB		◎		○	
2E22	ドイツ語ⅡA		◎		○	
2E22	フランス語ⅡA		◎		○	
2E22	中国語ⅡA		◎		○	
2E22	韓国・朝鮮語ⅡA		◎		○	
2E22	ドイツ語コミュニケーションA		◎		○	
2E22	フランス語コミュニケーションA		◎		○	
2E22	中国語コミュニケーションA		◎		○	
2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーションA		◎		○	
2E22	ドイツ語ⅡB		◎		○	
2E22	フランス語ⅡB		◎		○	
2E22	中国語ⅡB		◎		○	
2E22	韓国・朝鮮語ⅡB		◎		○	
2E22	ドイツ語コミュニケーションB		◎		○	
2E22	フランス語コミュニケーションB		◎		○	
2E22	中国語コミュニケーションB		◎		○	
2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーションB		◎		○	
3E32	ドイツ語ⅢA		◎		○	
3E32	フランス語ⅢA		◎		○	
3E32	中国語ⅢA		◎		○	
3E32	韓国・朝鮮語ⅢA		◎		○	
3E32	ドイツ語ⅢB		◎		○	
3E32	フランス語ⅢB		◎		○	
3E32	中国語ⅢB		◎		○	
3E32	韓国・朝鮮語ⅢB		◎		○	
1E02	ベーシック英語		◎		○	
1E12	英語コミュニケーション		◎		○	
3E32	英語ⅢA		◎		○	
3E32	英語ⅢB		◎		○	
1E11	スポーツ実技A	◎				
1E11	スポーツ実技B	◎				
1E14	体育講義				◎	
2E32	海外研究A		◎		○	
1E22	海外研究B		◎		○	
1E12	海外研究C		◎		○	
1E12	日本語ⅠA		◎			
1E12	日本語ⅠB		◎			
2E12	日本語ⅡA		◎			
2E12	日本語ⅡB		◎			

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる（現代をよく生きる）	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる（汎用的技能・能力）	課題を発見し、その解決のために学修成果を活用して取り組むことができる（課題発見・解決）	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる（多面的認識、思考）	専攻分野の学修成果を活用及び説明できる（専門分野の学修）
1R15	デジタル構想概論	○		○	○	◎
1C15	一次産業とデジタル構想（農林水産業）	○		○	○	◎
2C15	防災・減災とデジタル構想（防災、減災、まちづくり）	○		○	○	◎
2C15	デジタルによる地域活性化（地域企業と行政サービス）	○		○	○	◎
1R13	サイエンスラボ実践			◎		○
2R13	デジタルラボ実践			◎		○
1E23	CG・VRプログラミング実践			◎		○
3E33	戦略立案実践			◎	○	○
2R13	IoT開発実践			◎		○
2E23	エレクトロニクス実践			◎		○
3E33	無線技術と応用実践			◎		○
1R13	探究の思考と技法		○	◎	○	○
2R11	社会実装基礎論Ⅰ（コミュニケーションとマネジメント）	◎		○	○	○
2R21	社会実装基礎論Ⅱ（イノベーションとアントレプレナーシップ）	◎		○	○	○
3R33	デジタル構築実践			◎	○	○
3E15	簿記・会計と企業分析				○	◎
4E15	知的所有権	○				◎
3R25	卒業研究Ⅰ			○		◎
4R35	卒業研究Ⅱ			○		◎
4R35	卒業研究Ⅲ			○		◎
1E05	ブリッジ数学演習		○			◎
1E05	ブリッジ物理演習		○			◎
1R15	PC・プログラミングの基本		○			◎
1E12	デジタル技術の基礎		◎			○
1E12	自然現象理解のための物理		◎			○
2R15	電気回路		○			◎
2E15	インターネット基礎		○			◎
2E25	データ収集のためのセンサーテクノロジー		○	○		◎
2E25	人工知能		○	○		◎
3R22	デジタル技術のための数学		◎			○
4E22	エレクトロニクス基礎科学		◎			○
1E15	特別講義		○	○	○	◎
1R15	プログラミング基礎		○	○		◎
2E25	プログラミング応用		○	○		◎
2E25	アルゴリズム		○	○		◎
4E25	情報セキュリティ技術の基礎		○			◎
1R15	線形代数学		○			◎
2E15	線形代数学演習		○			◎
3E25	応用線形代数学		○			◎
3E25	応用線形代数学演習		○			◎
3E25	フーリエ解析		○			◎
2E25	情報理論		○			◎
3E35	最適化法		○	○		◎
3E25	機械学習		○			◎
4E25	音メディア信号処理		○			◎
2E25	インターネット応用演習		○	○		◎
3E25	通信システム		○			◎
4E15	情報通信法規		○			◎
1E15	微分積分学Ⅰ		○			◎
1R15	微分積分学Ⅰ演習		○			◎
2E25	微分積分学Ⅱ		○			◎
2E15	確率統計学		○			◎
3R15	確率統計学演習		○			◎
3E35	微分方程式		○			◎
2E25	デジタル信号処理		○			◎
2E15	電磁気学		○			◎
3E35	ワイヤレス応用		○	○		◎
3E25	電子回路		○			◎
3R25	デジタル回路		○			◎

(2) デジタル構想学部デジタル構想学科 カリキュラムマップ (専門分野の学修成果との対応)

ナンバリング	専門科目	専門科目が目指す学修成果			
		1	2	3	4
		予測困難な時代の課題を解決するために、日々進化するデジタルテクノロジーの基礎となる科学技術に関する基本的な知識と技能を説明できる。	現代社会の複雑な課題を系統的・構造的に分析するために、さまざまな手段を用いてデータや情報を収集することができる。	デジタルテクノロジーを活用して未来社会の持続的な発展に寄与する解決案を構想し、提案することができる。	デジタルと融合した人間中心の未来像を探究し、多様な背景をもつ関係者とコミュニケーションを図り、共にプロジェクトを社会実装する姿勢を持つことができる。
1R15	デジタル構想概論		◎	○	○
1C15	一次産業とデジタル構想(農林水産業)		○	○	◎
2C15	防災・減災とデジタル構想(防災、減災、まちづくり)		○	○	◎
2C15	デジタルによる地域活性化(地域企業と行政サービス)		○	○	◎
1R13	サイエンスラボ実践		◎	○	○
2R13	デジタルラボ実践		◎	○	○
1E23	CG・VRプログラミング実践		○	○	◎
3E33	戦略立案実践		○	○	◎
2R13	IoT開発実践		○	○	◎
2E23	エレクトロニクス実践		○	○	◎
3E33	無線技術と応用実践		○	○	◎
1R13	探究の思考と技法			◎	○
2R11	社会実装基礎論Ⅰ (コミュニケーションとマネジメント)		○	○	◎
2R21	社会実装基礎論Ⅱ (イノベーションとアントレプレナーシップ)		○	○	◎
3R33	デジタル構築実践		○	○	◎
3E15	簿記・会計と企業分析		○	◎	○
4E15	知的所有権	○	◎		○
3R25	卒業研究Ⅰ		○	◎	○
4R35	卒業研究Ⅱ		○	◎	○
4R35	卒業研究Ⅲ		○	◎	○
1E05	ブリッジ数学演習	◎		○	
1E05	ブリッジ物理演習	◎		○	
1R15	PC・プログラミングの基本	◎		○	
1E12	デジタル技術の基礎	◎		○	
1E12	自然現象理解のための物理	◎	○		
2R15	電気回路	◎	○	○	
2E15	インターネット基礎	◎	○	○	
2E25	データ収集のためのセンサーテクノロジー	◎	○		
2E25	人工知能	◎		○	
3R22	デジタル技術のための数学	◎		○	○
4E22	エレクトロニクス基礎科学	◎		○	○
1E15	特別講義	◎	○	○	○
1R15	プログラミング基礎	○	○	◎	
2E25	プログラミング応用	○	○	◎	
2E25	アルゴリズム	○	○	◎	
4E25	情報セキュリティ技術の基礎	○	○	◎	
1R15	線形代数学	○	○	◎	
2E15	線形代数学演習	○	○	◎	○
3E25	応用線形代数学	○	○	◎	
3E25	応用線形代数学演習	○	○	◎	○
3E25	フーリエ解析	○	◎	○	
2E25	情報理論	○	○	◎	
3E35	最適化法	○	○	◎	
3E25	機械学習	○	○	◎	
4E25	音メディア信号処理	○	◎	○	
2E25	インターネット応用演習	○	○	◎	○
3E25	通信システム	○	○	◎	○
4E15	情報通信法規	○	○	◎	○
1E15	微分積分学Ⅰ	○		◎	
1R15	微分積分学Ⅰ 演習	○		◎	○
2E25	微分積分学Ⅱ	○		◎	
2E15	確率統計学	○	◎	○	
3R15	確率統計学演習	○	◎	○	○
3E35	微分方程式	○		◎	
2E25	デジタル信号処理	○	◎	○	
2E15	電磁気学	○	◎	○	
3E35	ワイヤレス応用	○		◎	○
3E25	電子回路	○		◎	○
3R25	デジタル回路	○		◎	○

履修モデル

区分		1年前期		1年後期		単位数	2年前期		2年後期		単位数	3年前期		3年後期		単位数	4年前期		4年後期		単位数	単位合計	必要単位	
教養教育科目	TG ベーシック	人間的基础	聖書を学ぶ	キリスト教の歴史と思想	4	よき社会生活のためにB(福祉)	科学技術社会と倫理	4	キリスト教学C(キリスト教と文化)	2												10	34	
		知的基礎	情報リテラシー リーディング&ライティング		4	科学的思考の基礎		2																6
		課題探究					地域課題の探究	データ活用による探究	4															4
	共通教養科目	人文系											倫理学	歴史学	4									4
		社会系			東北地域論	2							経営学		2									4
		自然系	自然の科学	AI社会の基礎	4	AI・データサイエンス概論		2																6
外国語科目	第1類	英語	英語IA	英語IB	2	英語IIA	英語IIB	2														4	4	
	第2類	第二外国語・英語																						
	第3類		(ベーシック英語)		0																	0		
保健体育科目			スポーツ実技A	1																		1		
専門科目	デジタル構想科目		デジタル構想概論	一次産業とデジタル構想(農林水産業)	4	防災・減災とデジタル構想(防災・減災・まちづくり)	デジタルによる地域活性化(地域企業と行政サービス)	4														8		
		ファンダメンタル系	サイエンスラボ実践		3																		3	
	デジタル実践科目	AI・ソフトウェア系		CG・VRプログラミング実践	3	デジタルラボ実践		3					戦略立案実践	3									9	
		ICT系						IoT開発実践	3	無線技術と応用実践				3									6	
	社会実装科目			探究の思考と技法	2	社会実装基礎論I(コミュニケーションとマネジメント)	社会実装基礎論II(イノベーションとアントレプレナーシップ)	4	デジタル構想実践 簿記・会計と企業分析				5	知的所有権			2					13		
	卒業研究												卒業研究I	2	卒業研究II	卒業研究III	6					8	8	
	テックベーシック科目	ファンダメンタル系	PC・プログラミングの基本 デジタル技術の基礎	自然現象理解のための物理	6	電気回路 データ収集のためのセンサーテクノロジー	人工知能	6	デジタル技術のための数学				2	エレクトロニクス基礎科学			2					16		
		AI・ソフトウェア系		プログラミング基礎 線形代数	4		情報理論	2	最適化法	機械学習 フーリエ解析	6	音メディア信号処理			2							14		
		ICT系		微分積分学I 演習	1		デジタル信号処理	2	電子回路 確率統計学演習I	デジタル回路	5											8		
	その他																							
取得単位合計		18	22	40	20	18	38	21	13	34	9	3	12	124	46									

○東北学院大学定年規程

昭和61年10月1日

施行第6号

第1条 本規程は、東北学院大学（以下「大学」という。）に勤務する職員の定年に関する事項を定める。

第2条 大学に勤務する職員の定年は、満65歳とし、定年に達した日の属する年度の末日をもって定年とする。ただし、教授については、満67歳をもって定年とする。

第3条 本規程の改廃は、理事会が行う。

附 則

この規程は、昭和61年10月1日から施行する。

東北学院榴ヶ岡高等学校の基準面積について

宮城県「私立高等学校の設置及び収容定員変更の認可等に関する審査基準」により算出

該当する条文

第13条 校舎の面積は、法令に特別の定めがある場合を除き、全日制の課程若しくは定時制の課程の別又は学科の種類にかかわらず、次に定める面積以上とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があり、かつ、教育上支障がない場合は、この限りでない。

(1) 生徒数が120人以下の場合 1,200 m²

(2) 生徒数が121人以上480人以下の場合 $1,200 + 6 \times (\text{生徒数} - 120)$ m²

(3) 生徒数が481人以上の場合 $3,360 + 4 \times (\text{生徒数} - 480)$ m²

2 運動場の面積は、全日制の課程若しくは定時制の課程の別又は生徒数にかかわらず、8,400平方メートル以上とする。ただし、体育館等の屋内運動施設を備えている場合その他の教育上支障がない場合は、この限りでない。

運動場の面積について

第13条第2項により 8,400平方メートル

校舎の面積について

第13条第1項により

東北学院榴ヶ岡高等学校 生徒数 810名

$3,360 + 4 \times (810 - 480) = 4,680$ 平方メートル